

平成26年度水道事業会計予算の概要

平成26年3月24日、川崎市議会で平成26年度水道事業会計予算が可決されましたので、予算のあらましをお知らせします。

1 予算方針

水道事業については、平成18年8月に「川崎市水道事業の再構築計画」を策定し、将来の水需要予測を踏まえ、安全安定給水を確保した上で事業規模のダウンサイジングを進めてきています。

また、東日本大震災を踏まえ、鷺沼配水池の早期耐震化や、自家発電設備の設置対象施設の拡大、管路の耐震化などを積極的に進めています。

こうした重点的な取組を計画的かつ着実に継続するため、平成26年度から3か年の「川崎市水道事業中期計画」を平成26年3月に策定しました。

平成26年度予算は、再構築計画や中期計画などに基づき、水道の「安定給水の確保と安全性の向上」を図るために必要な予算を計上するとともに、退職給付引当金等の計上など、新しい地方公営企業会計基準を適用しています。

主要な建設改良事業として、耐震管路等整備事業 4,189,035千円、川崎縦貫道路関連施設整備事業 132,875千円、施設再構築事業 2,868,829千円を施行します。

(1) 収益的収入及び支出

(単位:千円)

	平成26年度	平成25年度	対前年度 増△減	対前年度 伸 率
収 益 的 収 入	35,194,179	32,661,585	2,532,594	7.8%
収 益 的 支 出	36,883,908	31,951,086	4,932,822	15.4%
差 引	△ 1,689,729	710,499		

※ 平成26年度の差引は、新しい地方公営企業会計基準に基づき、退職給付引当金を一括計上したことなどにより、マイナスとなっています。

(2) 資本的収入及び支出

(単位:千円)

	平成26年度	平成25年度	対前年度 増△減	対前年度 伸 率
資 本 的 収 入	4,604,761	4,423,298	181,463	4.1%
資 本 的 支 出	15,018,800	14,811,331	207,469	1.4%
差 引	△ 10,414,039	△ 10,388,033		

※ 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 10,414,039千円については、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 695,238千円、過年度分及び当年度分損益勘定留保資金 8,177,188千円並びに繰越利益剰余金処分数額1,541,613千円で補てんします。

2 業務の予定量

	平成26年度	平成25年度	増△減
給 水 戸 数	689,725戸	688,019戸	1,706戸
年 間 総 配 水 量	187,135,500m ³	187,865,500m ³	△ 730,000m ³
1 日 平 均 配 水 量	512,700m ³	514,700m ³	△ 2,000m ³
建 設 改 良 事 業 費	11,943,241千円	11,522,885千円	420,356千円

3 主な事業

1) 重点事業

平成26年度の重点事業については、以下のとおり事業を推進します。

(単位:千円)

項目	平成26年度	備考
(1) 水道施設の地震対策	6,328,013	○鷺沼配水池の耐震補強、末吉配水池の更新、応急給水拠点整備などの地震対策を推進する。
(2) 水道施設の再整備・再構築	2,874,264	○長沢浄水場第2期工事の推進するとともに、生田配水池の更新を進める。 ○長沢浄水場敷地内広報施設の基本設計を実施する。
(3) 水道施設の維持修繕	2,686,411	○計画的・効率的な施設維持管理・修繕工事を実施する。

2) 環境対策に係る主な取組について

事業運営にあたり、安全で良質な飲み水の安定給水を確保するために行う浄水処理や、送・配水の過程において、電力等のエネルギーの大量消費や廃棄物の発生など、少なからず環境に負荷を与えていますが、カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略（CCかわさき）の取組に基づき、廃棄物のリサイクル化など地球環境に配慮した事業運営を推進します。

(単位:千円)

項目	平成26年度	概要
(1) 脱水土の再資源化事業費	27,937	長沢・生田浄水場の浄水処理により発生した脱水汚泥をセメント原材料、改良土として再利用（有効利用）することで汚泥排出量を抑制する。
(2) ISO14001(※) 認証継続事業費	608	国際規格ISO14001認証を継続し、環境負荷低減の取組を行う。
(3) 自動車管理経費	1,243	ハイブリッド車（3台）を導入し、排出ガスの抑制を図る。
(4) 古紙リサイクル事業費	271	古紙リサイクルを推進する。
(5) 太陽光発電設備設置経費	503,916	長沢浄水場ろ過池上部等に太陽光発電設備を設置する。

※ISO14001

国際標準化機構（ISO）が発行する環境マネジメントシステム（EMS）の国際規格で、事業活動が環境への負荷を断続的に減らすための計画や環境保全の仕組みを構築し、この仕組みを国際規格として認証する。

4 予定損益計算書

平成26年度 川崎市水道事業予定損益計算書 (平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単位:千円)

費用	金額	収益	金額
営業費用	28,895,110	営業収益	28,606,714
原水費	909,796	給水収益	24,792,467
浄水費	1,211,220	受託給水工事収益	3,029
受水費	8,849,170	その他受託工事収益	25,060
配水費	1,638,288	その他の営業収益	3,786,158
給水費	4,885,129	営業外収益	2,981,050
受託給水工事費	2,986	受取利息及び配当金	8,962
その他受託工事費	23,378	他会計補助金	94,279
業務費	2,272,954	分担金	19,765
総係費	1,958,268	水道利用加入金	1,472,450
減価償却費	5,549,155	長期前受金戻入	768,737
資産減耗費	1,594,766	雑収益	616,857
営業外費用	1,323,854	特別利益	1,324,881
支払利息及び企業債取扱諸費	1,295,418	固定資産売却益	10
企業団繰出金	3,000	過年度損益修正益	57
雑支出	25,436	長期前受金戻入	3,455
特別損失	5,067,386	その他特別利益	1,321,359
固定資産売却損	10		
過年度損益修正損	27,388		
その他特別損失	5,039,988		
予備費	10,000		
予備費	10,000		
		当年度純損失	2,383,705
費用合計	35,296,350	収益合計	35,296,350

※ 地方公営企業会計基準の見直しに伴い、退職給付引当金などを特別損失に計上していますが、これは平成26年度限りの処理になります。

5 予定貸借対照表

平成26年度 川崎市水道事業予定貸借対照表 (平成27年3月31日)

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
資 産	175,910,308	負 債	83,351,717
固 定 資 産	160,391,576	固 定 負 債	56,128,454
有 形 固 定 資 産	146,682,030	企 業 債	50,766,693
土 地	3,280,991	建設改良費等の財源に 充てるための企業債	50,766,693
建 物	3,630,817	リ ー ス 債 務	90,864
構 築 物	122,160,033	引 当 金	5,270,897
機 械 及 び 装 置	12,551,466	退 職 給 付 引 当 金	5,270,897
車 両 運 搬 具	13,939	流 動 負 債	12,593,886
工 具 器 具 及 び 備 品	213,013	企 業 債	3,115,387
リ ー ス 資 産	109,275	建設改良費等の財源に 充てるための企業債	3,115,387
建 設 仮 勘 定	4,722,496	リ ー ス 債 務	27,149
無 形 固 定 資 産	2,181,546	未 払 金	7,000,446
地 上 権	23,601	預 り 金	2,025,850
施 設 利 用 権	2,136,698	未 払 費 用	49,890
庁 舎 使 用 権	15,878	預 り 保 証 有 価 証 券	19,000
電 話 加 入 権	5,369	引 当 金	356,164
投 資 其 他 の 資 産	11,528,000	賞 与 引 当 金	356,164
出 資 金	11,528,000	繰 延 収 益	14,629,377
破 産 更 生 債 権 等	-	長 期 前 受 金	14,629,377
流 動 資 産	15,518,732	受 贈 財 産 評 価 額	4,029,794
現 金 預 金	11,599,679	国 県 補 助 金	1,818,377
未 収 金	3,247,291	一 般 会 計 補 助 金	262,086
貯 蔵 品	552,762	工 事 負 担 金	8,428,166
前 払 金	100,000	其 他 長 期 前 受 金	90,954
其 他 流 動 資 産	19,000		
		資 本 の 部	
		資 本	92,558,591
		資 本 金	72,253,989
		剰 余 金	20,304,602
		資 本 剰 余 金	3,787,663
		受 贈 財 産 評 価 額	1,004,160
		国 県 補 助 金	56,830
		一 般 会 計 補 助 金	4,079
		工 事 負 担 金	2,720,061
		其 他 資 本 剰 余 金	2,533
		利 益 剰 余 金	16,516,939
		当 年 度 末 処 分 利 益 剰 余 金	16,516,939
借 方 合 計	175,910,308	貸 方 合 計	175,910,308

■ お問い合わせ先

◆水道事業会計及び工業用水道事業会計
 上下水道局財務課[水道経理] 電話: 044-200-3106
 FAX: 044-200-0376

平成26年度工業用水道事業会計予算の概要

平成26年3月24日、川崎市議会で平成26年度工業用水道事業会計予算が可決されましたので、予算のあらましをお知らせします。

1 予算方針

工業用水道事業については、平成18年8月に策定した「川崎市工業用水道事業の再構築計画」に沿って、生田浄水場の更新や送配水機能の強化・分散化のため、調整池新設などの取組を進めてきています。

また、東日本大震災を踏まえ、自家発電設備の設置対象施設の拡大などを進めてきています。

こうした重点的な取組を計画的かつ着実に継続するため、平成26年度から3か年の「川崎市工業用水道事業中期計画」を平成26年3月に策定しました。

平成26年度予算は、再構築計画や中期計画などに基づき、「工業用水の安定供給」を確保するために必要な予算を計上するとともに、退職給付引当金等の計上など、新しい地方公営企業会計基準を適用しています。

主要な建設改良事業として、川崎縦貫道路関連施設整備事業 10,010千円、施設再構築事業 1,596,515千円を施行します。

(1) 収益的収入及び支出

(単位:千円)

	平成26年度	平成25年度	対前年度 増△減	対前年度 伸率
収益的収入	7,803,787	7,396,448	407,339	5.5%
収益的支出	8,285,486	6,926,300	1,359,186	19.6%
差引	△ 481,699	470,148		

※ 平成26年度の差引は、新しい地方公営企業会計基準に基づき、退職給付引当金を一括計上したことなどにより、マイナスとなっています。

(2) 資本的収入及び支出

(単位:千円)

	平成26年度	平成25年度	対前年度 増△減	対前年度 伸率
資本的収入	1,512,972	876,943	636,029	72.5%
資本的支出	3,941,688	2,416,496	1,525,192	63.1%
差引	△ 2,428,716	△ 1,539,553		

※ 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 2,428,716千円については、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 192,745千円、減債積立金 496,007千円及び過年度分損益勘定留保資金 1,739,964千円で補てんします。

2 業務の予定量

	平成26年度	平成25年度	増△減
給水事業所数	59社 82工場	59社 81工場	1工場
年間総契約水量	188,460,100m ³	188,843,700m ³	△ 383,600m ³
1日当たりの 契約水量	516,329m ³	517,380m ³	△ 1,051m ³
建設改良事業費	3,238,883千円	1,730,749千円	1,508,134千円

3 主な事業

1) 重点事業

平成26年度の重点事業については、以下のとおり事業を推進します。

(単位:千円)

項目	平成26年度	備考
(1) 工業用水道施設の耐震化	358,641	○長沢浄水場の耐震補強、市内の耐震管路整備などの地震対策を推進する。
(2) 工業用水道施設の再整備・再構築	1,601,194	○基幹施設である稲田取水所、平間配水所の更新を進める。 ○長沢浄水場敷地内広報施設の基本設計を実施する。
(3) 工業用水道施設の維持修繕	139,589	○計画的・効率的な施設維持管理・修繕工事を実施する。

2) 環境対策に係る主な取組について

事業運営にあたり、安定給水を確保するために行う浄水処理や、送・配水の過程において、電力等のエネルギーの大量消費や廃棄物の発生など、少なからず環境に負荷を与えていますが、カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略（CCかわさき）の取組に基づき、廃棄物のリサイクル化など地球環境に配慮した事業運営を推進します。

(単位:千円)

項目	平成26年度	概要
(1) 脱水土の再資源化事業費	19,066	長沢・生田浄水場の浄水処理により発生した脱水汚泥をセメント原材料、改良土として再利用（有効利用）することで汚泥排出量を抑制する。
(2) ISO14001(※) 認証継続事業費	626	国際規格ISO14001認証を継続し、環境負荷低減の取組を行う。
(3) 自動車管理経費	1,113	ハイブリッド車（2台）を導入し、排出ガスの抑制を図る。
(4) 古紙リサイクル事業費	67	古紙リサイクルを推進する。

※ISO14001

国際標準化機構（ISO）が発行する環境マネジメントシステム（EMS）の国際規格で、事業活動が環境への負荷を断続的に減らすための計画や環境保全の仕組みを構築し、この仕組みを国際規格として認証する。

4 予定損益計算書

平成26年度 川崎市工業用水道事業予定損益計算書 (平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単位:千円)

費用	金額	収益	金額
営業費用	6,733,981	営業収益	6,939,851
原水費	3,477,294	給水収益	6,927,435
浄水費	978,163	受託工事収益	3,010
配水費	267,791	その他の営業収益	9,406
給水費	37,543	営業外収益	282,416
受託工事費	2,870	受取利息及び配当金	8,948
総係費	360,612	他会計補助金	49,131
減価償却費	957,110	長期前受金戻入	180,297
資産減耗費	652,598	雑収益	44,040
営業外費用	211,518	特別利益	16,385
支払利息及び企業債取扱諸費	211,440	固定資産売却益	10
雑支出	78	過年度損益修正益	10
特別損失	957,500	長期前受金戻入	10
固定資産売却損	10	その他特別利益	16,355
過年度損益修正損	10		
その他特別損失	957,480		
予備費	10,000		
予備費	10,000		
		当年度純損失	674,347
費用合計	7,912,999	収益合計	7,912,999

※ 地方公営企業会計基準の見直しに伴い、退職給付引当金などを特別損失に計上していますが、これは平成26年度限りの処理になります。

5 予定貸借対照表

平成26年度 川崎市工業用水道事業予定貸借対照表
(平成27年3月31日)

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
資 産	30,062,548	負 債	13,683,533
固 定 資 産	21,641,030	固 定 負 債	10,445,310
有 形 固 定 資 産	19,760,246	企 業 債	9,533,517
土 地	571,377	建設改良費等の財源に 充てるための企業債	9,533,517
建 物	1,742,862	リ ー ス 債 務	7,198
構 築 物	10,415,696	引 当 金	904,595
機 械 及 び 装 置	5,350,051	退 職 給 付 引 当 金	904,595
車 両 運 搬 具	96	流 動 負 債	2,237,058
工 具 器 具 及 び 備 品	20,613	企 業 債	712,028
リ ー ス 資 産	8,399	建設改良費等の財源に 充てるための企業債	712,028
建 設 仮 勘 定	1,651,152	リ ー ス 債 務	1,872
無 形 固 定 資 産	1,880,784	未 払 金	1,450,333
地 上 権	2,453	預 り 金	5,117
施 設 利 用 権	1,878,046	未 払 費 用	7,299
電 話 加 入 権	285	引 当 金	60,409
流 動 資 産	8,421,518	賞 与 引 当 金	60,409
現 金 預 金	7,400,180	繰 延 収 益	1,001,165
未 収 金	1,002,025	長 期 前 受 金	1,001,165
貯 蔵 品	9,313	受 贈 財 産 評 価 額	41,933
前 払 金	10,000	国 県 補 助 金	513,342
		一 般 会 計 補 助 金	75,458
		工 事 負 担 金	370,432
		資 本 の 部	
		資 本	16,379,015
		資 本 金	7,885,099
		剰 余 金	8,493,916
		資 本 剰 余 金	3,050,626
		受 贈 財 産 評 価 額	8,896
		国 県 補 助 金	1,628,490
		一 般 会 計 補 助 金	12,285
		工 事 負 担 金	1,400,955
		利 益 剰 余 金	5,443,290
		当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	5,443,290
借 方 合 計	30,062,548	貸 方 合 計	30,062,548

■ お問い合わせ先

◆水道事業会計及び工業用水道事業会計
上下水道局財務課[水道経理] 電話: 044-200-3106
FAX: 044-200-0376

平成26年度下水道事業会計予算の概要

平成26年3月24日、川崎市議会で平成26年度下水道事業会計予算が可決されましたので、予算のあらましをお知らせします。

1 予算方針

下水道事業については、大規模災害時においても必要な下水道機能の確保をはじめ、浸水対策・ゲリラ豪雨対策、老朽化対策、高度処理、合流改善など、下水道が抱える課題の解決に向けた様々な取組を、体系立てて確実に進めることを目的に、平成26年度から3か年の「川崎市下水道事業中期計画」を平成26年3月に策定しました。

平成26年度予算は、中期計画に基づき、将来に渡って持続可能な下水道サービスを提供するために必要な予算を計上するとともに、退職給付引当金等の計上など、新しい地方公営企業会計基準を適用しています。

主要な建設改良事業として、下水幹枝線、ポンプ場及び水処理センター等整備事業17,118,817千円を施行します。

(1) 収益的収入及び支出

(単位:千円)

	平成26年度	平成25年度	対前年度 増△減	対前年度 伸 率
収 益 的 収 入	45,969,291	37,894,718	8,074,573	△ 0.8%
収 益 的 支 出	44,455,282	36,328,250	8,127,032	△ 2.1%
差 引	1,514,009	1,566,468		

(2) 資本的収入及び支出

(単位:千円)

	平成26年度	平成25年度	対前年度 増△減	対前年度 伸 率
資 本 的 収 入	47,398,495	46,064,178	1,334,317	22.2%
資 本 的 支 出	64,700,403	62,925,361	1,775,042	14.9%
差 引	△ 17,301,908	△ 16,861,183		

※ 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額17,301,908千円については、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額828,801千円、減債積立金858,207千円及び当年度分損益勘定留保資金15,614,900千円で補てんします。

2 業務の予定量

	平成26年度	平成25年度	増△減
処 理 面 積	10,691 ha	10,685 ha	6 ha
水洗化助成戸数	165 戸	91 戸	74 戸
建設改良事業費	17,118,817 千円	16,749,244 千円	369,573 千円

3 主な事業

1) 主な事業

平成26年度では、以下の事業を推進します。

(単位:千円)

事業名	平成26年度	備考
(1) 下水道施設の地震対策	2,655,198	管きよ、処理場・ポンプ場施設の地震対策を推進する。
(2) 下水道施設の維持・修繕事業	1,525,018	維持管理・修繕工事を計画的かつ効果的に実施することで、安定した機能確保を図る。
(3) 下水道施設の再整備・再構築	3,526,020	管きよ、処理場・ポンプ場など老朽化した施設の更新を行う。
(4) 高度処理の導入	3,512,101	入江崎水処理センター建築事業 など
(5) 下水道整備による浸水対策	3,764,195	丸子地区ほかの浸水対策を推進する。

2) 環境対策に係る主な取組

事業運営にあたり、電力等のエネルギーの大量消費や廃棄物の発生など、少なからず環境に負荷を与えていますが、カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略（CCかわさき）の取組に基づき、設備の改築・更新時におけるエネルギー効率の高い機器の導入など、地球環境に配慮した事業運営を推進します。

(単位:千円)

項目	平成26年度	概要
(1) 加瀬水処理センター送風機設備更新	114,041	老朽施設の更新工事に合わせた省エネルギー型機器の導入を推進する。
(2) 入江崎総合スラッジセンター焼却炉設備更新	1,724,210	効率的な運転を可能とする、焼却炉設備の更新を行うことにより、温室効果ガスの排出量を削減する。
(3) 下水汚泥の資源化に関する調査業務委託ほか	94,500	下水汚泥が保有するバイオマスエネルギーの有効利用に向けた、乾燥汚泥燃料の最適化と事業化を検討する等。
(4) 古紙リサイクル事業費	246	上下水道局の古紙回収を行う。

4 予定損益計算書

平成26年度 川崎市下水道事業予定損益計算書 (平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単位:千円)

費 用	金 額	収 益	金 額
営 業 費 用	33,922,264	営 業 収 益	35,202,434
管 き よ 費	1,200,475	下 水 道 使 用 料	22,398,822
ポ ン プ 場 費	1,054,284	一 般 会 計 負 担 金	12,588,537
処 理 場 費	4,966,172	受 託 事 業 収 益	101,444
水 質 指 導 費	119,227	そ の 他 営 業 収 益	20,595
受 託 事 業 費	101,444	プ ー ル 事 業 収 益	93,036
普 及 促 進 費	119,482	営 業 外 収 益	8,950,793
貸 付 助 成 事 業 費	25,878	受 取 利 息 及 び 配 当 金	182,801
業 務 費	1,500,361	一 般 会 計 補 助 金	959,887
総 係 費	1,351,256	長 期 前 受 金 戻 入	7,635,417
減 価 償 却 費	22,789,126	雑 収 益	172,688
資 産 減 耗 費	602,349	特 別 利 益	951
プ ー ル 事 業 費	92,210	固 定 資 産 売 却 益	10
営 業 外 費 用	8,644,906	過 年 度 損 益 修 正 益	941
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	8,469,378		
雑 支 出	175,528		
特 別 損 失	881,800		
固 定 資 産 売 却 損	5,067		
過 年 度 損 益 修 正 損	28,255		
そ の 他 特 別 損 失	848,478		
予 備 費	20,000		
予 備 費	20,000		
当 年 度 純 利 益	685,208		
費 用 合 計	44,154,178	収 益 合 計	44,154,178

※ 地方公営企業会計基準の見直しに伴い、退職給付引当金などを特別損失に計上していますが、これは平成26年度限りの処理になります。

5 予定貸借対照表

平成26年度 川崎市下水道事業予定貸借対照表 (平成27年3月31日)

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
資 産	732,497,033	負 債	596,079,861
固 定 資 産	718,270,732	固 定 負 債	325,453,006
有 形 固 定 資 産	704,837,721	企 業 債	324,998,983
土 地	44,177,108	建設改良費等の財源に充 てるための企業債	253,360,483
建 物	22,038,890	その他の企業債	71,638,500
構 築 物	536,369,118	リ ー ス 債 務	62,017
機 械 及 び 装 置	77,712,617	引 当 金	392,006
車 両 運 搬 具	351	退 職 給 付 引 当 金	392,006
工 具 器 具 及 び 備 品	320,200	流 動 負 債	56,191,768
リ ー ス 資 産	63,834	企 業 債	44,631,175
建 設 仮 勘 定	24,155,603	建設改良費等の財源に充 てるための企業債	40,437,675
無 形 固 定 資 産	23,313	その他の企業債	4,193,500
施 設 利 用 権	17,025	リ ー ス 債 務	16,439
電 話 加 入 権	6,288	未 払 金	10,939,782
投 資	13,409,698	預 り 金	28,580
基 金	33,158	未 払 費 用	310,507
公 債 償 還 準 備 金	13,376,540	引 当 金	240,285
流 動 資 産	14,226,301	賞 与 引 当 金	240,285
現 金 預 金	3,784,594	そ の 他 流 動 負 債	25,000
未 収 金	8,907,409	繰 延 収 益	214,435,087
前 払 金	1,500,000	長 期 前 受 金	214,435,087
そ の 他 流 動 資 産	34,298	受 贈 財 産 評 価 額	71,994,795
		寄 附 金	632,723
		国 庫 補 助 金	140,184,837
		県 補 助 金	146,253
		負 担 金	1,426,016
		そ の 他 長 期 前 受 金	50,463
		資 本 の 部	
		資 本	136,417,172
		資 本 金	110,202,613
		資 本 金	110,202,613
		剰 余 金	26,214,559
		資 本 剰 余 金	23,191,539
		受 贈 財 産 評 価 額	4,799,388
		国 庫 補 助 金	18,358,956
		そ の 他 資 本 剰 余 金	33,195
		利 益 剰 余 金	3,023,020
		減 債 積 立 金	1,295,097
		当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	1,727,923
借 方 合 計	732,497,033	貸 方 合 計	732,497,033

■ お問い合わせ先

◆下水道事業会計

上下水道局財務課[下水道財務担当] 電 話： 044-200-3560

FAX： 044-200-0376